

さすがにさすが、弥彦、角田は花の山



4月4日、新潟県の弥彦山、角田山に登った。それぞれ634m、481mと標高こそ低いが、いずれもよく知られた花の山。カタクリ、オオミスミソウ、キクザキイチゲなどが咲き乱れる中を多くの登山者が登っていた。

以前にも触れたが、弥彦（やひこ）山は九州の英彦（えひこ）、播州の雪彦（せっぴこ）と共に日

本三彦山とされ、いずれも修験道、宗教の山である。麓にある弥彦神社の

祭神は天香児山命（あまのかごやまのみこと）で、この命は大和から当地に派遣された高倉下（たかくらじ）とされているから、奈良とは縁浅からぬ山と言える。

昨年登った時、弥彦山八枚川登山口の駐車場が広くなかったの

で、そちらを先に登ることにした。弥彦神社まではスムーズに行けたが、そこからの記憶が明瞭でなく、別の林道へ迷い込んだ。その林道の沿道にもカタクリ、キクザキイチゲの群落があり、早くも期待で胸が膨らむ思いであった。

このページの4枚の写真はいずれもオオミスミソウです。雪割り草

と呼ばれるこの植物の多彩・多様な花の変化は驚きですね。





エチゴキジムシロ→

八枚川登山口ではいきなりコシノコバイモの出会いを受けた。溪流の崖に4輪も咲いているのではないか。鈴鹿山脈の藤原岳のミノコバイモは尾根に咲いていたので、まさか溪流沿いでコバイモに会えるとは思わなかった。**コシノコバイモ↓**



↑←カタクリ この登山路はいきなりお花畑の中を登り、それが途切れないのだ。カタクリは真っ盛り、そしてオオミスミソウ(雪割草)が多彩な色、形、姿で咲いている。これらの花に目を奪われた登山者はひっそりと咲くシュンランなどには気もつかないようだ。いや路傍のシュンランが踏み潰されないかとハラハラして見守る。



↓エンレイソウ

↓コシノカンアオイ



ウスバサイシン



キクザ

↓キクバオウレン(菊葉黄連) キイチゲ→



ナニワズ→

↓シュンラン

